

第3号議案

令和6年度 長崎市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）

目次

ページ

[1款 駐車場費 1項 駐車場総務費]

1目 駐車場管理費

駐車場管理運営費

.....

2～4

土木部  
令和7年1月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
12～13	1 駐車場費	1 駐車場総務費	1 駐車場管理費	1-1	駐車場管理運営費	千円 31

## 1 事業概要

電気・ガス料金や燃料費などの光熱費の高騰が長期化していることに伴い、公の施設の管理運営に与える影響が継続していること、また、今後の光熱費の価格の動向の見通しが見えない状況もあることから、安定した施設の管理運営を行うため、公の施設の指定管理者に対して、運営状況に応じて支援を行うもの。

## 2 事業内容

### (1) 支援の対象経費

施設管理運営経費のうち、電気料金

### (2) 支援額

対象経費の影響額の1/2（1,000円未満切り捨て）

## 2 事業内容

### (3) 影響額の算出方法

当初積算時に、その施設の管理運営にかかる必要な使用量を算出していることから、単価の増による影響である「影響額①」を基本とする。

ただし、当初積算時の使用量をそのまま再積算すると、実績と比べて過大となる場合もあるため、その場合は、「影響額②」とする。

#### ア 影響額①(積算ベース(長崎市の積算)による算出)

当初の長崎市の積算における使用料金の単価を現在の使用料金の単価(令和6年4月から11月までの実績の平均)に置き換えて算出した額(A)と当初の積算額(B)との差

#### イ 影響額②(実績ベースによる算出)

光熱費の高騰の影響があった令和6年4月から11月までの実績額に、令和6年12月から令和7年3月までの見込額を加えた額(C)と当初の積算額(B)の差

#### 【影響額の算出方法のイメージ図】

- ・当初の長崎市の積算に用いた使用量(年間必要量):2,500kwh
- ・当初の長崎市の積算に用いた単価:10円
- ・現在(令和6年4月~11月平均)の単価:20円
- ・令和6年度見込(令和6年4月~11月の実績+令和6年12月~令和7年3月の見込):40,000円

ア	(A)		-	(B)		=	影響額① 25,000円
	当初積算時の 使用量 2,500kwh	× 現在の単価 (R6.4月~11月平均) 20円		当初積算時の 使用量 2,500kwh	× 当初積算時の単価 10円		
	50,000円			25,000円			
イ	(C)		-	(B)		=	影響額② 15,000円
	R6.4月~11月の 使用料金実績	+ R6.12月~R7.3月の 使用料金見込		当初積算時の 使用量 2,500kwh	× 当初積算時の単価 10円		
	40,000円			25,000円			

支援額の算定には、原則として影響額①25,000円を用いるが、影響額②15,000円を上限とするため、この場合は15,000円の1/2である7,500円≒7,000円(1,000円未満切り捨て)を支援額とする。

### 3 施設一覧

(1)長崎市民会館地下駐車場	支援額 24,000円
(2)長崎駅西口自動車整理場	支援額 7,000円

### 4 財源内訳

事業名	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
駐車場管理運営費	千円 31	千円 -	千円 -	千円 -	千円 31	千円 -

※一般会計繰入金